

会議名称： 令和 2 年度 3 月期古賀市社会教育委員の会議

日 時： 令和 3 年 3 月 1 6 日（火） 18 時 30 分～19 時 30 分

場 所： リーバスプラザこが 103 会議室

主な議題：（１）提言書テーマについて

（２）提言書最終確認

（３）一年間の振り返り

（４）一年間の講評

傍聴者数：なし

出席者：松本議長、角森副議長、平島委員、國友委員、井浦委員、村山委員、橋爪委員、  
秋山委員、丸井委員

（以上委員 9 名）

青谷部長、中村課長、村上参事補佐、小嶋、渡邊

欠席者：なし

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジュメ、各委員の提言

会議内容：以下のとおり

松本議長：

皆さんこんばんは。ただ今から 3 月期の会議を始めます。本日が今年度最後の会議となりますので、1 年間のまとめと提言書の最終確認をしたいと思います。それでは協議事項に入ります。

まず、提言書のテーマについてです。3 月 10 日に私と副議長、事務局とで皆さんから出していただいたテーマについて協議しました。どのテーマも素晴らしかったのですが、キーワードとして「社会教育の振興」と、9 名の委員からの提言であることを尊重し「9 つの提言」という文言を入れ「今後の社会教育の振興のための 9 つの提言」に決まりましたので、ご了解を得たいと思います。皆さんよろしいでしょうか。

委員一同：

はい。

松本議長：

ありがとうございます。では、提言書の最終確認に入ります。お手元に皆さんの分の提言書をお配りしています。読みやすいように、皆さんの原稿を 2 段組みに編集していただいています。今から 10 分程度時間を取りますので、ご自分の原稿をもう一度熟読していただいて、変更したい箇所や誤字脱字があれば赤ペンを入れていただきたいと思います。

（原稿確認）

松本議長：

よろしいでしょうか？全体で確認をすることはありますか？無ければ、確認を終了したいと思います。コロナ禍の中で計画していた「笑顔のつどい」が出来なくなり、急遽、個人提言の作成という事になりました。皆さんお忙しい中、一生懸命に取り組んでいただき本当

にありがとうございました。今後の流れとしては、事務局に市長・教育長との日程調整をしてもらい、現議長・副議長、次期議長・副議長でお渡しに行くという事になります。よろしくをお願いします。事務局から補足があればお願いします。

事務局：

皆さんから提出していただいた原稿について、句読点や語尾、仮名遣いなどを事務局で修正し統一させていただいています。本日お配りしております最終原稿ですが、修正があれば3月23日までにご提出をお願いします。

松本議長：

では、原稿の締め切りは3月23日という事でお願いします。それでは、一年間の振り返りに入りたいと思います。1人3分間以内で、今年度の会議の在り方への感想や課題があれば出していただきたいと思います。まずは平島委員からお願いします。

平島委員：

はい。今日私は、最後の会議となります。8年間どうもありがとうございました。

コロナ禍でなかなか交流館の利用者が戻らないと思う。提言書にも書いたが、ぜひシルバー割引の制度を考えていただいて高齢者が利用しやすいような環境を作っていただきたい。今回、提言書作成の為に調べてみると、他の市区町村ではシルバー割引やジュニア割引など様々な特典がある地区がある。

また、残念に思う事として、市長の発言やブログに高齢者の事は一つも出てこない。子どもファーストはわかるが、高齢者も人口の30%の割合を占めている。高齢者も希望を持てるような発言をして欲しいというのが、最後のお願いです。

交流館がもっとにぎわい文化の中心となるような、みんなが楽しく集まれる場所になって欲しいと思います。

最後に、私は公共施設というものになじみが無く、最初の2年間ほどは全く分からなかったが、皆さんのお話を聞いて勉強をさせていただきました。本当にありがとうございました。

松本議長：

平島委員とは8年間お付き合いをしていますが一貫して利用者目線で発言をしていただきました。利用者本位の社会教育施設の有効化という意見は、事務局にも届いていると思います。それでは、國友委員をお願いします。

國友委員：

はい。今年はコロナ禍という事で議長も言われた通り「笑顔のつどい」や、その他の研修も中止となった。新たな経験はできなかったが、振り返る機会にはなったと思う。私は委員を継続する意向ですので、来年度一年間を通して、可能な部分から今までやれていた事で良かったところはさらに良く、色々な事をやったり考えたりできたらよいと思う。一年間ありがとうございました。

松本議長：

國友委員がいるだけで会議が明るくなりました。地域でも活躍されてお忙しい中でも、明るく元気にポジティブに過ごされており、勉強になりました。ありがとうございました。では、橋爪委員をお願いします。

橋爪委員：

はい。一年間ありがとうございました。今年度で2年目でしたが、私は教員なので、日頃は教員としか関わらないためにどうしても視野が狭くなりがちだが、このような会議に参加させていただき、様々な立場の方のお話を聞かせていただくことは、とても自分の為になっていると思う。

私はスポーツ協会から参加させていただいていますが、スポーツ協会も学校も今年はコロナに振り回された1年だったと思う。見通しが見つからないことで苦しかったんだと思うが、来年度はある程度、何ができて何ができないのかの見通しが立っている。できる事を探して市民の皆様や子どもたちの為に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

松本議長：

私が社会教育に携わったのは退職後ですが、この若さで地域づくりに活躍されている皆様とお付き合いができたというのは、橋爪委員の将来にとって幅が広がることとなったのではないのでしょうか。ありがとうございました。それでは、秋山委員をお願いします。

秋山委員：

はい。一年間ありがとうございました。昨年度から社会教育委員の会議に参加させていただき今年度で2年目でしたが、初めての提言書の作成で、皆様からいろいろとご指導をいただきありがとうございました。

提言書作成の中で皆さんそれぞれの想いを聞くことができ、自分にとっても良かったと感じています。

社会福祉協議会からの委員の選定については、これまで1期のみだったが来年度からは変更となり、来年度も引続き委員を務めさせていただくこととなりました。「社会教育とは～である。」と端的にまとめられるようになることが目標なので、来年度少しでもその目標が達成できたらと思います。

松本議長：

秋山委員は福祉の分野からの問題提起をしていただいて、本当に勉強になりました。社会福祉協議会の名称は知っていたが、活動実態については説明をしていただき知ることができた。ありがとうございました。では、丸井委員をお願いします。

丸井委員：

はい。私も2年目になるのですが、提言書もどうしようかと不安に思いながら作成しました。

松本議長：

丸井委員は発言こそ少ないですが提言書の実践交流をみると、子どもの為に育成会や色々なところで活躍されておられるので、凄い方だと感心しました。来年度からも、丸井委員の力を十分に発揮していただきたいと思います。ありがとうございます。では、井浦委員お願いします。

井浦委員：

はい。一年間ありがとうございました。個人提言という事で、やはり書くためにはしっかりと勉強をしなければいけないので、改めて国や県の情報を調べ勉強する機会になりました。ありがとうございました。

教員という T の立場で書いていることが多かったが、今年度で退職となるので、これからは C という地域の立場でご協力できることはしていこうと思っています。これからもよろしくお願いします。

松本議長：

ありがとうございました。校長会から選出していただきましたが、井浦委員ほど適任の方はいらっしゃらないと思います。主任社会教育主事といった経歴を持っておられ、さまざまな場面で適切なアドバイスをいただきました。来年度はぜひ中心となって引っ張っていただきたいと思います。よろしくお願いします。では、村山委員よろしくお願いします。

村山委員：

一年間皆さんと一緒に活動ができて、私としては気持ちが豊かになった一年だったと思う。ありがとうございました。

コロナ禍の中でさまざまな行事が中止となったが、社会教育委員の会議は中止にならず開かれ続けたことは驚きだったし、提言書を作るとなった時は冷や汗が出ました。自分のやってきたことを振り返ってまとめることができたことは、自分にとって非常にプラスになりました。皆さんからの指摘を受けて、提言を書き直すことで更に考えを深めることができました。本当に良い機会だったと思います。学ぶことは続けて行かないといけないと思っています。ありがとうございました。

松本議長：

村山委員とは長い付き合いになります。地域文庫を長年にわたり続けてこられた粘り強さ、根気には感心をしております。提言書にも書かれていますが、古賀市の子どもたちの読書活動も頑張っていただき、社会教育委員でも貴重なご意見を頂けるのではないかと思います。ありがとうございました。

では、副議長お願いします。

角森副議長：

はい。世の中はコロナ禍で大変でしたが、提言書の作成を行ったことで「笑顔のつどい」だけでは知り得なかった委員の皆さんの活動をたくさん知る事ができたのは、コロナのお陰とだと思う。コロナの対応は本当に大変なことが多かったが、中にはラッキーなこともあったのではないかと思います。

社会教育委員の会議に参加し、皆さんに会わせていただいて、本当に良かったと思っています。

松本議長：

角森副議長は重たい内容も笑顔で語られるが、誰にでもできる事ではないと思います。

また来年も、健康について我々に知識を与えていただけたらと思います。どうもありがとうございました。

引き続き私からですが、私も平島委員と同じく8年間委員をさせていただきました。私も学校教育しか知らない堅い人間でしたが、社会教育委員になって多彩で多様な人物がたくさんいらっしゃった。皆さんに共通しているのは、ボランティアマインドであり、人の為、地域の為、古賀市の為にこれだけ活動されるバイタリティに感心し、一番勉強になりました。

この学びを活かして、来年度からは地域をどんなふうに活性化していこうかと、作戦を練っているところです。最後になりましたが、8年間ありがとうございました。

それでは、中村課長から一年間の講評をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

中村課長：

講評というよりも、感謝のご挨拶をさせていただきたいと思います。

この一年はコロナに始まりコロナに終わるといった形で、これまでできていた事ができなかった一年でした。特に、人が集まることができないため「笑顔のつどい」をはじめ、さまざまな活動を行う事ができず、春の段階ではピンチだと思っていたが、この社会教育委員の会議だけはピンチを感じさせない活動だったなと思います。「笑顔のつどい」ができなかったり、皆さんの活動にも変化があったりしたと思いますが、コロナのお陰で分かった事、新しい試みを試せた事もあったのではないかと、その一番大きな取り組みが提言書だったのではないかと感じています。

そもそも社会教育はどういった役割を果たすべきかという社会教育の原点を、我々も改めて考えた一年であった気がしています。時代の変化によって変わっていくものもあるが、今回の提言書を拝見して、変わらないものも沢山あると感じました。それは何かというと、家庭・地域・人のつながりを絶やさないという事です。それを益々強めていき、議長がおっしゃった様にボランティアマインドのお陰で街づくりが成り立っていくんだと、改めて感じることができました。

今回の提言書は非常に多様性に富んでおり、色々な立場からの提言になっているが、共通するのはそこに目指すべき求める地域の姿や関わる人の姿が見えている事。1ページ1ページ熱のこもった、心が伝わる提言書と感じています。今後はこの提言書をフルに活用させていただき、提言を踏まえながら施策を進めて行くとともに、多くの人に提言書を広めていきたいと思います。一年間本当にありがとうございました。

松本議長：

あたたかい講評、激励ありがとうございました。続いて、その他の項目に進みたいと思います。委員の皆さんからご連絡事項はありませんか？無ければ事務局からお願いします。

事務局：

はい。一年間つたないサポートではありましたが、お付き合いくださりありがとうございました。来年以降も委員を継続していただく方もいらっしゃると思います。本当に感謝しております。ありがとうございました。

松本議長：

次回の開催はどうでしょうか？

事務局：

改めて新委員の皆さんに対し委嘱書の交付式も含めて、ご案内を差し上げたいと思います。

松本議長：

はい。では、おわりの言葉の前に、今年度でご勇退される青谷部長にご挨拶をいただきたいと思います。

青谷部長：

はい。まずは、最後のご挨拶の機会をいただきありがとうございます。また一年間、社会教育委員として熱心に活動してくださった事に、感謝いたします。特に、松本議長、平島委員につきましては、8年間という大変長い間社会教育委員としてご尽力をいただき、御礼を申し上げます。

今年度は限られた時間の中でしたが、最終的には9名の委員の想いがこもった素晴らしい提言を作成していただきました。古賀市としても、この提言をしっかりと受け取め、活かしていきたいと思っております。

私自身この会議のすべてに参加することはできなかったが、参加するたびに、1人の人としてどのように生きていかなければならないのか、という事を考えさせられる貴重な時間だったように思うとともに、皆さんには大変感謝をしております。

今年度で退職となりますが、今まで以上に地域・社会教育活動に取り組むことが多くなると思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。皆さん本当に一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

松本議長：

ありがとうございました。それでは、副議長からおわりの言葉をお願いします。

角森副議長：

はい。ウイルスも生きていかなければいけないので変異をするのは当然のことと思いますが、それに負けないように人も強くなれないといけないと思います。皆さん、どうもお疲れ様でした。